



## 商品・パッケージのデザイン、 商標の保護と最適な権利取得

～商標法・意匠法・不競法・著作権法、どの法律を使って守るのがベストなのか？商品の特性に合わせた選択の考え方～

難易度  
中級

平成**26**年**9**月**26**日(金) **10:00**～**17:00**

講師 **青木 博通 氏** ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士



◆商品の売れ行きを左右する商品やパッケージのデザインと商標を、如何に効果的に保護するか、意匠法、商標法、不正競争防止法、著作権法に分けて、出願のバリエーション、各保護要件、侵害判断基準について説明します。

◆また、各法律による保護のメリット・デメリット

トを解説して、商品・パッケージデザインの種類に応じた複合的な使い分けについて解説します。

◆そして、最後に、米国、欧州、中国における保護の留意点についても、商標・意匠の国際登録制度と合わせて解説致します。

### 【解説内容】

- |                             |                                 |                            |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|
| I パッケージデザインの種類              | 2. 権利取得上の留意点                    | 3. 裁判例と侵害判断基準              |
| 1. パッケージ (箱、ボトル)            | 3. 裁判例と侵害判断基準                   | VI 各法律の保護のメリット・デメリットと使い分け  |
| 2. ラベル (文字、図形、キャラクター)       | IV 不正競争防止法による保護                 | VII 事例研究                   |
| 3. その他 (商品の形状、タッチポイント、広告)   | 1. 3つの保護のバリエーション (混同、著名、デッドコピー) | VIII デザインによるブランド確立         |
| II 意匠法による保護                 | 2. 保護要件                         | VIII 海外における保護の留意点          |
| 1. 出願の種類 (部分、関連、組物、秘密、動的意匠) | 3. 裁判例と適用例 (パッケージの稀釈化)          | 1. 米国 (デザインパテント、コモン・ロー)    |
| 2. 権利取得上の留意点                | V 著作権法による保護                     | 2. 欧州 (欧州共同体商標規則・同意匠規則)    |
| 3. 裁判例と侵害判断基準               | 1. 著作物性                         | 3. 中国 (不競法の整備が遅れている、主役は意匠) |
| III 商標法による保護                | 2. 保護要件                         | 4. 商標・意匠の国際登録 (WIPO)       |
| 1. 文字・図形・立体・色彩・位置による保護      |                                 |                            |

◇本講座は、企業や法律・特許事務所における実務経験2年～5年の方々にとって、最適な講座です。

◆日 時：平成26年9月26日(金) 10:00～17:00

◆会 場：発明会館7階 研修ルーム

◆定 員：50名

◆講 師：青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料：会員16,500円・一般19,000円 (※消費税8%込み)

◆申 込：FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp 「研修のご案内」)